



2019年11月10日 日曜日
(令和元年) 未来へ、埼玉で。

きょうは何の日
技能の日、トイレの日、エレベーターの日、肢体不自由児愛護の日
75TH

埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市北区吉野町2-282-3
本社代表 048-795-9930

17 早期発見 歩いてPR

乳がんの早期発見などの大切さを啓発するピンクリボンミニウォークin埼玉が、さいたま市内で行われ、ピンクのゼッケン姿の約千人が約1.8キロを歩いた。



乳がん 知識と検診を さいたま新都心

ピンクリボンミニウォーク

熊谷市から家族で参加した公務員金森大志さん(36)は「自身での確認のやり方

がん自己検診なども行われた。

乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の大切さを啓発するピンクリボンミニウォークin埼玉(埼玉新聞社など後援)が9日、さいたま新都心で行われ、ピンクのゼッケンを着けた約千人の参加者が約1.8キロのコースを歩き、正しい知識と検診の早期受診の重要性を呼び掛けた。

県、さいたま市、戸田中央医療グループなどピンクリボン運動推進埼玉県委員会が主催し、さいたま新都心で行われるのは今年で3回目。10月の世界乳がん月間に合わせ、啓発活動が行われている。スタート前に戸田中央総合病院の原田容治院長が早期検

診の大切さについて述べ「歩くことがPRとなり、皆がしっかりと学ぶことで正しい知識を持ち、乳がん撲滅につながれば」とあいさつ。参加者はけやき広場をスタートし、さいたま新都心駅を經由して駅東口のココーションシティで折り返した。中央区新都心のさいたま赤十字病院前特設会場ではパネル展示も行われ、乳がん自己検診なども行われた。

や、検診の補助もあるそうなので、そうした知識が広まっ

(新井護)



胸にピンクのゼッケンを着けてスタートしたピンクリボンミニウォークの参加者—9日午後、さいたま市中央区